

2024 年 5 月 19 日

「アマチュア無線の魅力向上アイディア」提案書

1. 提案者
 - ・氏名（グループの場合は代表者）：大久保 雄司
 - ・年齢：
 - ・コールサイン（局免許保有者の場合）：J M 1 E M X
 - ・連絡先 住 所：
 - メール：
 - ・（グループの場合）代表者以外の構成員の氏名・年齢：
2. 提案カテゴリー（AまたはBを選択）
 - A 既に開局している若者や初心者にとっての魅力を一層高めるアイディア
 - ~~B アマチュア無線を知らない若者に興味を抱かせ資格取得を動機づけるアイディア~~
3. アイディア名：リモート運用でもっと DX QS0 を！
4. アイディアの概要（200 字以内）：

学生のときに DX 通信と縁遠かった理由が二つある。（１）移動時間も（２）お金も無かった。この二つを解決する画期的なプランが「リモート QS0 の為のレンタル・シャック」である。
5. 詳細説明（図表を含めて 4 頁以内）：

当局は還暦間近になってやっとの思いでアンテナタワーを建てることができた。ここまで到達するのに時間がかかり過ぎた。もっともっと若いときから DX に慣れ親しみ、できれば DX ペディションに参加できるような超越した無線スキルを身につけたかった。「今からでも遅くないさ。」と慰めてくれる友もいるがもはや色々と手遅れである。

そこでこれから日本のアマチュア無線界を牽引していく若手人材発掘&育成に主眼を置いたプランを考えてみた。

上記（１）と（２）二つを解決する画期的なプランが「リモート QS0 の為のレンタル・シャック」である。簡単に言えば体験局経験をインターネットなどを活用したリモートで行い、DX 設備を持った局が多くの子供たちに時間貸しするプランである。（基本的に無償とする）

多くのアマチュア無線家が経験することとして、DX のプロパゲーションが整うのは早朝（マジックアワー）である。早朝時間帯に他人の家へ移動し訪問して無線室へあがりこみ大声で「じゃぱーん！」などと叫べるはずもなし。しかしリモートであれば自宅に居ながらにして大きなアンテナと高いタワーを組み合わせた DX・QS0 が気軽に体験できる。大きな声も出せる。

もちろんこれを実現するには全国に点在する多くの DXer 達による協力体制が欠かせ

ない。(※1) 法律の解釈や整備も必要かもしれない。まずはJARL 巣鴨事務所に
ある無線設備をドネーションにより増強し(※2)、リモートQSOが実用になるのか
実験を繰り返し、そこで得たノウハウを基にしてJARL 会員の中で「時間貸ししても
良い」という局長を集うのである。貸し出す対象年齢制限は特に設けない。ただ優
先的に18歳以下の若人たちに異次元の経験して欲しい。(※3)「アンテナが高い
とこんなに遠くの珍しい海外局が聴こえるんだ。」という感動は一生の財産になる
と思し、そこで体験する複数回に及ぶQSOは近い将来日本発のDX ペディションを背
負って立つ人材育成に対して大いに役立つことでしょう。

【注意点】

- ※1 一部のDXerに過度な負担がかからないように配慮する。
- ※2 無線設備増強の際、見積りを必ず複数の業者から取り入札形式で行う。
- ※3 既にDXerとして仕上がっている若者には遠慮してもらう。このプランは
経験の浅い新たな若手発掘が主眼である。

6. 参考情報（任意）

- ・参考資料：資料名 （PDF ファイルを添付）
- ・Web 情報：タイトル、URL